



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年6月26日

大分県知事  
(市長)

殿

提出者

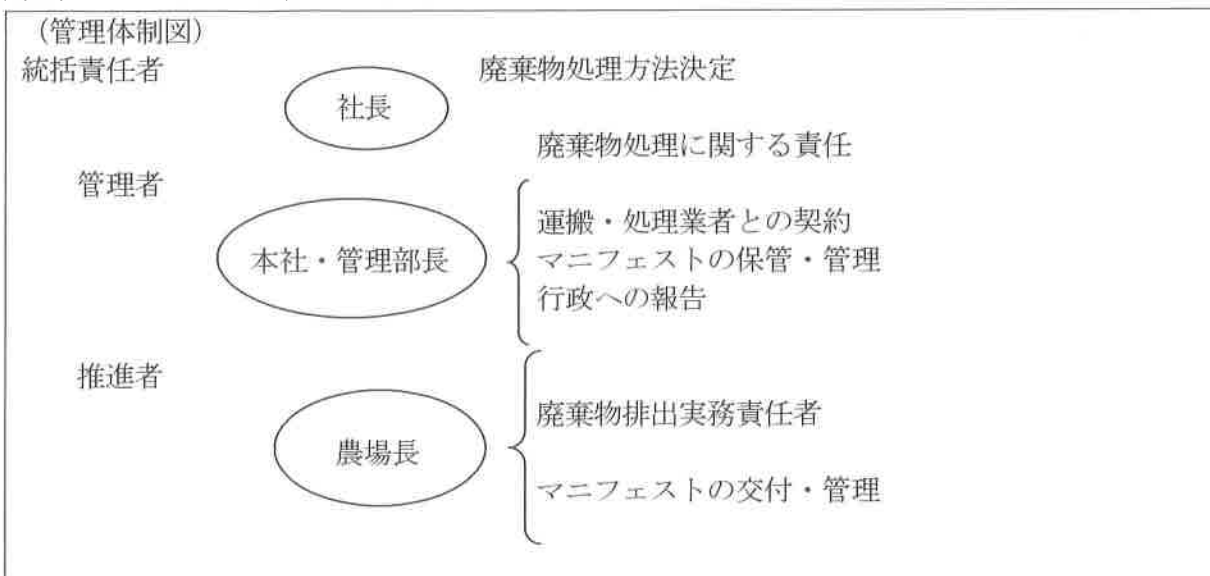
住 所福岡市中央区那の津5丁目3番1号  
氏 名 JA北九州ファーム株式会社  
代表取締役社長 坂爪 義弘  
電話番号 092-738-2002

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	JA北九州ファーム(株) 直入農場
事業場の所在地	大分県竹田市直入町大字長湯8572-21
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	豚 4,000頭
③従業員数	12人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜ふん尿 : 自己堆肥化 家畜の死体 : 処理業者への委託処理

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体
	排 出 量	10389.92 t	18.8 t
	(これまでに実施した取組) 家畜ふん尿 : 自己堆肥化 家畜の死体 : 処理業者への委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体
	排 出 量	11000.0 t	20.00 t
	(今後実施する予定の取組) 家畜ふん尿 : 自己堆肥化 家畜の死体 : 処理業者への委託		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	10389.92 t	t
	(これまでに実施した取組) 自己堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	11000.0 t	
	(今後実施する予定の取組) 自己堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（      令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全処理委託量	18.8 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	18.8 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 処理業者への委託処理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全処理委託量	20.00 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	20.00 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>動物性飼料原料として有効活用するため、従来通り処理業者へ委託する。</p>		
※事務処理欄			